

2019年12月30日(月)

老球の細道516号

「会津バスケットボール協会トップアスリート講習会」終了

会津バスケットボール協会 室井 富仁

Bリーグが誕生し、東京五輪の参加も確実に、今までは夢物語だったNBA日本人選手の誕生が普通になりつつある日本バスケットボール。誰もが世界レベルを念頭に切磋琢磨する潮流になっている。そんな折、会津バスケットボール協会においても、意識の高い小、中学生に正しいファンダメンタルとバスケットボールの楽しさを習得させ、将来につなげる選手を育成するために上記講習会が先日無事終了した。

約60名位の小、中、高校生、常時10名以上の指導者が参加してくれた。今年で6年目になったが、相変わらず中学生の参加が少なく、ミニ時代から参加してきたリピーターだけで残念だった。各チームでの指導が充実しているためでありやむを得ないだろう。

指導陣は松井遵一郎前会長をはじめ60代を超えるコーチが4名もおり、皆情熱的で、普段の仕事も要職にありながら、時間に都合をつけて参加してくれたことに感謝し、大いに勇気づけられた。若手の高校の指導者、ミニの指導者などからも新たなスタッフが加わり、選手たちを叱咤激励してくれた。チーム会津で全体のレベルアップを図らなければならない。講習会の内容は以下の通りである。

- 第1回 9月15日(日) 葵高校 「パス&カット・スペーシング」
- 第2回 9月22日(日) 葵高校 「ドライブからのアウトサイドスペーシング」
- 第3回 9月28日(日) 葵高校 「ドライブからのインサイドスペーシング」
- 第4回 10月6日(日) 若商高校 「ドリブルからの1:1オフェンス」
- 第5回 11月23日(土) 会津高 「アウトサイドの1:1オフェンス」
- 第6回 12月1日(日) 学鳳高 「インサイドでの1:1」
- 第7回 12月22日(日) 学鳳高 「ピック&ロールオフェンス」
- 第8回 12月28日(日) 学鳳高 「トランジションオフェンス」

会津地区の選手に特に不足しているのは次の3つである①状況判断をしながらプレイする②コンタクトに負けないでプレイする③コミュニケーションをとりながらプレイする。それらを意識、喚起させるためのドリルを創意工夫して実施した。ドリル作成の3原則①ゲームライク②シチュエーション設定③状況判断の必要(デシジョンメイクドリル)をふまえながら今までにないドリルを創ることは至福の時間である。時に産みの苦しみを伴うことがあるが、ひらめいた時の喜びは「朝のコーヒー」「夜のビール」に匹敵する。

会津地区は強化の面で現在バスケットボール後進地区になってしまった。しかし、選手達には、現在自分たちの実力が二流、三流でも、目指すは超一流の気概をもつことを希望する。

来年はネズミ年である。それぞれのカテゴリーが「窮鼠猫を囓む」の心意気でアップセット、番狂わせを起こすことを期待したい。この講習会がその一助になれば幸いである。